

アンドールシステムサポート株式会社 様

ファイル持ち出し制御による情報漏えい対策強化で
システムハウスとしての信頼性を向上

アンドールシステムサポート株式会社は「4thEye Professional」を導入。
顧客とのファイル受け渡し時の、情報漏えい対策強化を実現しました。

システムに挑戦する
アンドールシステムサポート株式会社



会社名
アンドールシステムサポート株式会社
本社所在地
〒140-0004
東京都品川区南品川 2-15-8
業種
情報通信
事業内容
組み込みシステム開発・製造及び量産/
計測制御システム開発製造 ほか
社員数
54名（取締役、監査役を除く）
HP
www.andor.jp



アンドールシステムサポート株式会社は、先端応用技術でお客様のシステム開発を支援するシステムサポート業務を日本で初めて企業化した、システムハウスのパイオニアです。創業から50年になり、大手メーカーとの豊富な取引実績を誇ります。福祉車両のシート制御ハードウェアから物流システム制御ソフトウェア開発まで、幅広い領域のお客様のシステム開発を行っています。また、電子機器の製造検査用 JTAG テスト、手作業のテストを自動化する PXI など、海外の最先端技術と開発の技術を融合し、お客様のモノづくりをトータルでサポートしています。同社は今回、PC から USB メモリなどへのファイル持ち出しを制御する情報漏えい防止システム「4thEye Professional」（以下、4thEye）を導入し、業務上のセキュリティ対策を強化しました。

導入の狙い

- 業務上、機密性の高い情報の受け渡しが多く、物理的な情報漏えい対策が課題
- 外部からのセキュリティ対策強化要請
- デリケートな試験・検査用 PC で使用するため、わずかな動作遅延も NG

採用理由

- 初期費用が不要、すぐに導入判断ができる月額ライセンス料金制
- PC へのインストールが簡単で、社内展開も容易
- 業務に支障なくファイルの持ち出し、読み込み制御が実現

背景

機密性の高い情報を取り扱う業務が多く、
情報漏えい対策が課題

当社は業務上、開発中製品の設計図など、機密性の高い情報をお客様と受け渡す機会が多くあり、情報漏えい対策に課題を感じておりました。またソーバルグループの一員となり一層のセキュリティ対策強化が求められました。社員もセキュリティに対する意識は高く幸い事故は起きていませんでしたが、仕組化にあたっては最適なソリューションが見つからずいました。客先でのデモも多く、そもそもシンククライアント PC では動作しません。また、当社が提供する精密機器のテスト関連アプリケーションはデリケートで、わずかなノイズや動作遅延でも業務に支障を来すため、データ暗号化も行えませんでした。

経緯

製品評価で自社製品への影響が
ないことを確認、導入を決定

そんな折、4thEye の紹介を受け評価検証を行いました。製品評価で最も懸念したのは、当社が提供するアプリケーションへの影響です。検証の結果、動作にもパフォーマンスにも影響がないことが確認でき、導入を決定しました。シンプルで確実、業務上の制約を受けずに積年の課題である情報漏えい対策が実現できることが、採用の決め手となり導入を決定しました。



アンドールシステムサポート株式会社
取締役社長 古屋 繁之 様

POINT 1

初期費用が不要、すぐに導入判断ができる月額ライセンス料金制

4thEye は導入のしやすさも特徴の 1 つです。初期コストや開発が不要で、月額のライセンス費用でサブスクリプション的に利用ができることで、ライトな感覚で情報漏えい対策を始めることができました。当社ではお客様先への訪問が多い営業メンバーを中心に、利用を開始しました。

POINT 2

PC へのインストールが簡単で、社内展開も容易

取り扱い説明も非常に簡単な手順書だけで、インストールも簡単。誰でもすぐに利用開始でき、社内展開も容易でした。



エンベデッド開発事業部
プロダクトソリューションチーム
次長 谷口 正純 様

POINT 3

業務に支障なくファイルの持ち出し、読み込み制御が実現

当社の主なお客様先は製造工場で、外部ネットワークとの接続がない環境です。そのため設計図などのデータは引き取りに伺い、お客様と一緒に作業して USB メモリを使ってお預かりします。当社側で組み込みを行ったデータをお戻しする際も同様です。データの受け渡し時には物理的な解除キー (USB) を使用し、ファイルの持ち出し、読み込みが可能となり、直感的でわかりやすいのも魅力です。社員利用時のトラブルもなく、これまで通りの業務フローで、確実に安全性が高まっていると思います。



利用中の 4thEye 解除キー (USB) (上)

今後の展開

現在は営業チームを中心に 4thEye を活用し、今後は全社展開を検討しています。当社の取引先である製造業界は外部接続を禁止してセキュリティを保って来た一方で、データ受け渡しの水際対策は非常に厳しいお客様が多い状況です。全社で 4thEye を利用することでお客様への安心感が訴求できます。社内のステップとして、まずは正しい手順を理解し意識を高めてもらう段階で、ここから段階を踏んでいきたいと考えています。セキュリティ対策はポリシー策定などが複雑で始めにくく、業務で使いづらいと頓挫してしまいがちですが、4thEye は導入しやすく、日々の運用もしやすい現実的な解だと思えます。

“サイエンスパークさんは以前からセキュリティ関連の研究開発で存じ上げていましたが、実際に製品を導入して、改めてその技術の確かさを実感しました。これからもセキュリティや働き方改革など社会課題の解決、ユーザーが利用しやすいモノづくりに、期待しています。”

アンドールシステムサポート株式会社 取締役社長 古屋 繁之 様



導入製品

PC から USB メモリなど外部接続デバイスへのファイル受け渡しを制御する情報漏えい防止ソフトウェア。インストール済の PC に解除キー (USB) を挿している間だけ、ファイルの持ち出しが可能になる。USB/IEEE1394/SCSI/シリアルポートなど多数のインターフェイスと、USB メモリ / スマートフォン / CD/DVD など多様なメディアに対応。サーバーレスで利用でき、別途ログサーバーを活用すれば、各種ログの取得も可能に。

4thEye
Professional

▼ 導入製品に関するお問い合わせはこちら

お問合せ
フォーム

<https://sciencepark.co.jp/contact/products/>
(24 時間受付)

TEL

046-255-2544 (受付時間 平日 9:30 ~ 18:00)